市報 にいがた

昭和56年 第754号
8月9日

市の人口
前月比
人口 453,501(+563)
男 222,439(+277)
女 231,062(+286)
世帯数 144,348(+294)
56年6月末日現在

発行日 毎週日曜日
発行所 新潟市役所
新潟市西堀通6番町866
電話 代表(28)1000
編集人 高橋甲子
(担当企画部広報課)
印刷所 ㈱第一印刷所

自然をそのまま残して
―〝青少年三川自然の森〟オープン―

冒険心、探究心を養おう
谷沢(やざわ)地区に、広さ二十七ヘクタール

「子供たちを自然の中で遊ばせ、冒険心、探究心を養おう」―と、市では東蒲原郡三川村谷沢地区に「青少年三川自然の森」を建設していましたが、このたびキャンプ場などが完成し、八月一日からオープンしました。当日は、新潟市や三川村の関係者、子供たち約五百人が出席し、盛大にオープンを祝いました。

「子供たちから大いに利用してもらいたい」とあいさつする本間助役

「青少年三川自然の森」は、三川村谷沢地区の約二十七ヘクタール(市営陸上競技場一帯の約五倍の広さ)の自然の中に建設され、キャンプ、ハイキング、昆虫採集など、自然に親しみながら楽しめる市民の森です。

一日からオープンしたのは、三つのキャンプ場と集いの広場、冒険広場、太陽の丘。

式典は、集いの広場で午後二時から行われ本間助役が「子供たちが、大自然の中でのびのび活動し、キャンプ生活を通して、社会性、協調性を養うために造りました。大いに利用してください」―とあいさつ。地元の三川村山口村長も「オープンおめでとう。もっともっと大きな森になるように願っています」―とお祝いのことばを述べました。

続いて、新潟市の子供代表の寺本奈津子さん(鳥屋野中二年)が「私たちのために、こんな立派なキャンプ場を造ってくれてありがとう。キャンプ生活を大きな思い出とします」―と感謝のことばを述べました。

引き続き、記念行事に移り、新潟市と三川村の子供たちによる遊びのコーナー〝自然の森ジャンボリー〟が行われ、友情を深め合いました。

また、夜には、新潟市内の子供たち約三百人がキャンプ生活に入り、キャンプファイヤーをたき、歌ったり、踊ったりして、楽しい夜をすごしました。

利用方法

期日 五月一日～十月三十一日

使用料 キャンプ場の使用料は無料。テントなどの備品は有料で貸し出します。

テント	一張一泊600円
飯ごう	一個 100円
鍋(約30人用)	一個 100円

申し込み・問い合わせ 市社会教育課(上大川前通八、開公ビル内、☎25―1000)へ

〈交通案内〉

●車利用(新潟から)
①五十島(いがしま)橋経由…約五十三キロ、九十分、②揚川(あげかわ)ダム経由…約五十五キロ、百分。
※なお、五十島橋からの道路は大型バスは通れません。

●汽車利用
国鉄磐越西線白崎(しろさき)駅～バス谷沢下車後徒歩二十分。

国民年金

福祉年金の定時届は11日からです

福祉年金を引き続きうけるための「定時届」が十一日から始まります。

この定時届は、老齢福祉年金、障害福祉年金、または母子福祉年金をうけている方の前年の所得状況、および他の公的年金との併給額を確認し、今後一年分の支給、不支給が決められる大切な届です。

八月支払いの年金を郵便局でうけとりましたら、届け出場所へ「国民年金証書」を提出してください。

また、他の公的年金(普通恩給、普通扶助料、公務扶助料、遺族年金、厚生年金保険、船員保険、各種共済組合年金―など)を新たにうけられた場合や年金額の改定があった場合は、その証書などもご持参ください。

昭和五十六年一月二日以降に新潟市へ転入された方は、前住所地の市町村長の発行する昭和五十五年中の所得証明書が必要です。

届け出場所 国民年金課、地区事務所、連絡所。

水族館で、子供達にプレゼント
〝イモリ、ザリガニ〟もらったよ

「ひとりザリガニは一匹、イモリは二匹、コイは三匹だよ!」。七月二十五日午前十時から水族館で恒例となったイモリ、ザリガニ、コイのプレゼントが行われ、夏休みを迎えた子供たちがドッと押しかけました。当日は午前八時すぎから行列ができはじめ、十時には長い行列ができました。

子供たちは持参した水そうやバケツにイモリなどを入れ大喜びでした。

このプレゼントは、十年程前から水族館が毎年行っているもので、いまでは夏休みを迎えた子供たちが待ち望む行事になりました。

この日のために、水族館の職員四人が四日かかって、イモリは村上、ザリガニは岩室村や五泉方面へ出かけてつかまえてきたものです。

今年は近年にない盛況で、十一時すぎには用意したイモリ六百匹、ザリガニ五百匹、コイ千匹がすぐになくなってしまいました。

左、開門と同時に長い行列ができました。下、プレゼントをもらって喜ぶ子供たち。

アメシロ

二回目の発生時期
8月11日～22日 巣取りのチャンス

緑の脅威、アメリカシロヒトリの二回目の発生時期がきました。アメシロ撲滅の秘訣は、なんといっても巣取り。巣取り好期は八月十一日から二十二日くらいです。巣取り防除を徹底して行いましょう。

巣取りが カギを握る

アメシロ防除の成否は、巣取りの成否で決まります。観察は巣取り好期以降一週間くらいを含めて、約五日置きに、三回くらいは、次の方法で徹底的に行ってください。

①ハサミで巣を切り取り、焼くか良く踏み殺す②布切れを針金によじりつけ、竹竿等の先に結びつけて、油を浸みこませ、火をつけて焼き殺す③家庭用小型噴霧機の先端のノズルの中にある金具をはずして作動すると、鉄砲状に五メートル位飛ぶので、DEP剤(ディプテレックス)の千倍液を巣にめがけてかける。

薬剤散布は 二の次

巣取り防除で見落としてしまい、それが散らばった場合に、薬剤散布防除を行いますが、その時期は八月下旬から九月中旬です。市は、自治会単位や家庭単位で防除機の貸し出しを行います。自治会単位の申し込みは、防除対策室、各地区事務所、鳥屋野連絡所です。電話で申し込んでください。

なお、市では、十月三十一日まで、防除対策室(長潟六二六☎86―〇七五九)を設け、防除に関する指導や助言を行っています。ご利用ください。

おもな目次
◙親と子の社会科教室(二面)
◙公害を考える～1～(二面)
◙ただいま猛練習中 ～新潟まつりまであとわずか～(三面)
◙早起き野球ブロック別優勝決まる(四面)

中小企業経営相談

相談日 毎週水曜日午後一時～四時
会場 市民相談室(中央公民館一階)
相談員 通産大臣登録の中小企業診断士
申し込み 市商業観光課(☎28―1000)

Uターン学生へ 大学生就職ゼミナール

日時 8月25日午後1時～4時40分
会場 日本生命ビル9階大ホール(東大通2)
対象 来春大学、短大、高専を卒業見込みの方300人(先着順)
内容 新潟公共職業安定所管内における大卒雇用の見通しについて
申し込み 往復はがきに、出身地、住所、氏名、大学学部学科名を明記し、新潟公共職業安定所大学相談室(〒950 万代3―4―38、☎44―0131)へ。返信用にあて名を記入

鳥屋野交通公園 ゴーカートの臨時休業

8月14日、15日は臨時休業します。なお8月17日は定休日です。

―農家の方へ― 農地の貸し借りの申し込みは8月31日までに

市では、農地法によらないで市が仲立ちをして農地の貸し借り等を進める「農用地利用増進事業」を行っています。

今年度は次のとおり仮申し込みを受け付けます。

申し込み期限 8月31日まで
申し込み先 農業委員または市内農協
問い合わせ 市農林課(☎28―1000)か市農業委員会(☎41―4111)へ
※詳しくは、農業連絡員を通じ配布したチラシを見てください。また申出書用紙がないときは市へ申し出てください。

コーラスの夕べ ～コーラスしなの～

日時 8月29日午後7時～
会場 坂井輪地区公民館5階ホール
連絡先 小林(☎69―5747)※入場無料

植物・昆虫の名前を調べる会

植物・昆虫標本などで名前のわからないものの種属、科名などを教えます。

日時 8月26日午前9時～正午
会場 市立総合教育センター
対象 市内在住の小・中学生とその保護者
受け付け 当日午前9時～10時半に、わからない植物や昆虫を持って、市立総合教育センター(西大畑458―1、☎29―0233)へ

親子理科工作講習会

日時 8月24日午前9時～正午
会場 市立総合教育センター(西大畑)
内容 理科工作の製作と工夫
対象 小学生とその保護者50人
申し込み 8月15日まで(必着)に、往復はがきに、講習会名、住所、児童・付添保護者名、電話番号を記入し、市立総合教育センター(〒951 西大畑458―1)へ